

『試金石(しきんせき)』という言葉をかいたことがあるでしょうか？…

☆☆☆AAE活動犬、「レイ君」の一日 特別編

「試金石」というのは、もともとは金(きん)など貴金属の鑑定に用いられる黒色の硬い石のことで、その石の表面に金をこすりつけ、その条痕色(じょうこんしょく…こすったあとについた色のこと)を標準品の色と比較して、その貴金属の純度を測定する石のことです。その意味から転じて、様々な物の価値や力量などを計る基準となるものごとをさす場合にも使われます。

なぜ、この「試金石」という言葉のことを書いたのかというと、実はそれは今、本校でAAE活動犬として来ているレイ君と関係があるのです。

これまで様々な犬を飼ってきました。当たり前ですが、これらの中には同じ犬は決していません。たとえそれが同じ母犬から生まれた兄妹犬であっても顔の違いはもとより、性格の違いも様々です。また、育った環境によっても個性がかわってきます。特に、生まれてからその犬がどんな飼い主のもとで育ってきたのか、或いは場合によっては様々な理由で飼い主が転々と替わる経験をした犬は、他の犬と比べて心の中に何かしら屈折した複雑なものを抱えている場合が多いように思います。

犬は人間と違って言葉を発することはありません。人間なら年齢に応じて様々な言葉を使ってその時々気持ちを相手に伝えようとします。喜びや悲しみ、怒り等々、赤ん坊でも同じです。言葉を発する前の段階であれば「様々な泣き方」で自分を表現します。

犬は鳴くこともありますが、その時々を「唸り(うなり)」や「様々な音程の鳴き声(ハウリングとよばれるオオカミの遠吠えのような声も含みます)」、時には「威嚇する声を発したり」することと、尻尾や体表面の被毛の動きなど体の一部の動きを合わせて仲間や相手に自分の心を伝えようとします。私たち人間は、こういった犬の仕草をみて、その時々まわりの状況などとあわせて何を伝えようとしているのか考えます。犬同士の場合は、これらの仕草と、相手の匂いから様々なことを瞬時に理解します。



レイ君も「犬」ですから、基本的にこういったことは「当たり前」なこととして日常を過ごしています。ただ、彼の場合、『特技』をもっています。『特技』といっても訓練試験での科目(待て、座れ、後へ、持ってこい、飛べ、探せ、守れ、等々)にあるようなものではありません。言葉で表わすのは難しいのですが、簡単に言えば、そのとき自分にかかわっている人(犬の場合もあります)の精神状態がどのような状態なのかを瞬時に感じとるのです。言い方を変えると、自分にかかわっている相手が「(精神的に)安定している」のか「不安定な状態」なのか、「心からの優しさ」があるのか、「自分のことを避けている」のかを、それこそ「瞬時」に感じ取ります。

そして相手に対する態度を決めます。例えば、撫でられるときをとっても、(自分を撫でている)相手が「心からの優しさ」をもってなでている場合と、そうでない場合(おそろおそろ、いたずら心で、興味本位で等々)では、撫でられているときの表情(犬にも表情があります)や体全体のリアクションが異なります。基本的に犬は「正面から抱きつかれたり」、「意味もなく撫でまわされたいり」、「尻尾に触れられたり」、「顔あるいは顔の一部に触れたり」することを嫌います。時には、唸ったり、咬む仕草で相手を威嚇(いかく)して、それをやめさせようとする事すらあります。しかし、レイ君は違うのです。

レイ君は子どもだけでなく、おとなも含めて自分にかかわってくれる人に対して「とにかく寛容」です。撫でられればそれに体をゆだね、顔などを近づけてくる人には、自分も同じように近づいてにおいを嗅いで相手の気持ちを確かめたり、最後はお腹をみせる「完全服従」の姿勢(要するに背中を地面につけて仰向けでお腹を相手にみせる動物としては最も無防備な姿のことです。これはよほど相手を信頼していないと知らない相手に対してはしません。)を自分からとります。ただし、相手が「犬が苦手」な意識をもっているときは、自分からかかわったりしません。怒っているわけではありませんが、あえて相手を無視したりします。また、自分に「触れた」人の心の状態をその手や相手の体から感じ取るようで、相手が「不安」を感じているときは、その「不安」を打ち消そうとして相手を舐めたり、自分から頭をこすり付けていたりといった行動をとります。これは、彼なりに「大丈夫だよ」といったようなことを相手に伝えているのです。

レイ君は生まれたときから知っていますが、今日までの6年半彼の日々の行動、特に彼がかかわる相手に対する行動をみると、レイ君の行動を通して「相手の心の状態」が見えてくるのです。そういった意味で、彼は人や動物の『心の試金石』と言えるのではないかと感じています。 ※つづく To be continued (次号に続きます)

